

# 近世店屋考

kinseimiseyakou

1983年、鳥取県青谷町の床屋から撮影を開始した「近世店屋考」は、現在、100店舗以上を記録するまでになった。個人商店を見つけては店主を説得し、撮影できる場合もあるが、中にはどうしても撮影許可がもらえず、そのうち閉店する店も多くあった。また「帰れ！」と怒鳴られながらも何時間もただひたすらお願いし、撮影をさせてもらった店や、それとは逆に、撮影を喜んでくれた店主もあった。現在も山陰の町や田舎に車を走らせているが、大正や昭和の時代を色濃く残す個人商店は、まるで絶滅危惧種を探すかのごとく難しい。私自身、消えゆく店屋を目の前にし、どうしていいのか分からない。ただ、写真家として先輩たちがそうしてきたように、自分の住んでいる地域を凝視し、記録し続けるしかない。

池本喜巳



石山理容院 鳥根県仁多郡奥出雲町横田1986年



但見酒店 鳥取県鳥取市弥生町1999年

## 池本喜巳略歴 (いけもと・よしみ)

1944年鳥取市生まれ。日本写真専門学校卒業し、大阪で修行の後、池本喜巳写真事務所を経営。1978年 第9回アルル国際写真フェスティバル(フランス)と同年ドイツ・ケルンで開催されたフォトキナに植田正治氏の助手として参加。仕事の傍ら、故植田正治氏の助手を長く務める。ライフワークとして、山陰の人物や風景、個人商店などを撮影している。国内外で作品展や講演会を開催。2013年にはNHK日曜美術館「写真する幸せ植田正治」のゲストとして出演。2015年東京と大阪のニコソサロンにて昔ながらの個人商店を撮影した写真展「近世店屋考」開催。

## ♣ 池本喜巳によるギャラリートーク

日時：4月23日(土) 15:00～ / 6月19日(日) 14:00～  
料金：1500円(入館料込)

## ♣ 都築響一氏によるスペシャルトーク

日時：5月21日(土) 18:00～  
料金：2000円(入館料込)



都築響一氏

都築響一氏略歴 (つづき・きょういち)

1956年東京生まれ。ポパイ、ブルーアス誌の編集を経て、全102巻の現代美術全集『アート・ランダム』を刊行。以来現代美術、建築、写真、デザインなどの分野での執筆・編集活動を続けている。93年『TOKYO STYLE』刊行。96年刊行の『ROADSIDE JAPAN 珍日本紀行』で、第23回木村伊兵衛賞を受賞。その他独特の視線で取材・執筆し、著書多数。現在、個人で有料メールマガジン『ROADSIDERS' weekly』を毎週水曜日に配信中。  
(<http://www.roadsiders.com/>)

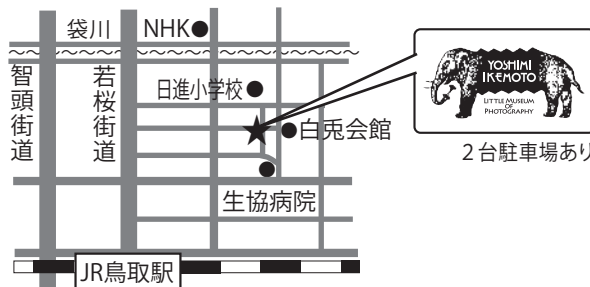
予約先着  
限定10人

## ♣ 写真の原点を体験!

大型カメラによる撮影・現像・プリントのワークショップ

日時：7月9日(土)・10日(日) (2日間) 10:00~16:00  
9日：撮影と現像 / 10日：暗室によるモノクロプリント  
料金：2日間参加で10,000円(フィルム・印画紙等材料込)  
予約順、**限定10人**(電話：090-7892-6252 / mail: info@ikephoto.co.jp)

※開催場所いずれも池本喜巳小さな写真美術館にて開催



住所：〒680-0841 鳥取市吉方温泉1丁目655  
問い合わせ先：TEL 090-1687-4588(池本)  
mail: info@ikephoto.co.jp